

取扱説明書



もくじ

もくじ.....	1
はじめに	3
1章 本製品を使うための準備	6
1 各部の名称 ー外観図ー	6
1 前面図	6
2 背面図	8
3 裏面図	9
4 磁石の内蔵について	10
2 本製品のスタイルについて	11
1 スタイルの種類	11
2 スタイルを変更する	12
3 リカバリメディアを作る	16
2章 取り扱いについて	17
1 バッテリーについて	17
1 バッテリー充電量を確認する	18
2 キーボードについて	19
3 画面にタッチして操作する	20
4 Webカメラを使う	22
5 無線通信機能を設定する	23
1 無線通信機能をON/OFFする	23
2 無線通信機能を設定する	23
6 充電式USIアクティブ静電ペン2を使う	24
1 充電式USIアクティブ静電ペン2を充電する	25
3章 困ったときは.....	26
1 Chromebookヘルプを参照する	26
2 Q&A集.....	27
1 電源	27
2 システム/ストレージ	28
3 タッチパネル	28
4 その他	29
3 本製品をリセットする/初期状態に戻す (リカバリ)	30








1 リカバリ方法について	30
2 初期状態にリセットする方法	31
3 リカバリメディアを使用して復元する方法	31
付録	32
1 ご使用にあたってのお願い	32
1 本製品を使うにあたって	32
2 無線LANやインターネットの使用に関するお願い	40
2 サービス&サポートのご案内	42
3 技術基準適合について	44
4 無線LAN／Bluetooth®について	45
5 充電式USIアクティブ静電ペン2の仕様	51

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本製品のマニュアルは、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 Memo	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ 操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 ・本書内への参照の場合…「 」 ・ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

- ＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- ＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

お子様がお使いになるときは、保護者のかたが各種説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、上演、演奏、展示、改変、複製物の譲渡および貸与、ならびにネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 記載について

- 本書に記載している画面やイラストは、表示例のため、一部省略したり、実際とは異なる場合があります。
- Chrome OSのアップデートにより、手順や表示などが変更される場合があります。

4 商標について

- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Google、Google ドライブ、Chrome、Chromebook は Google LLCの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Wi-Fi、Miracast、WPAは、Wi-Fi Allianceの登録商標あるいは商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

5 | お願い

- 本体のストレージにインストールされているシステム（OS）以外の、システム（OS）をインストールした場合、システム（OS）の動作保証はできません。
また、本体のストレージにインストールされているアプリケーション以外の、アプリケーションをインストールした場合、すべてのアプリケーションの動作保証はできません。
- 本体のストレージにインストールされているシステム（OS）／アプリケーションは、本製品でのみ使用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいつさいの責任を負いません。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。
リカバリを行った場合には再び使用許諾書が表示される場合があります。
- 本体のストレージや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。本体のストレージや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいつさいその責任を負いません。

6 | 無線通信機能についての注意事項

- 無線LAN（WLAN）／Bluetooth®機能は日本国内で利用してください。
本機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。

1章 本製品を使うための準備

この章では、本製品の各部の名称について説明しています。

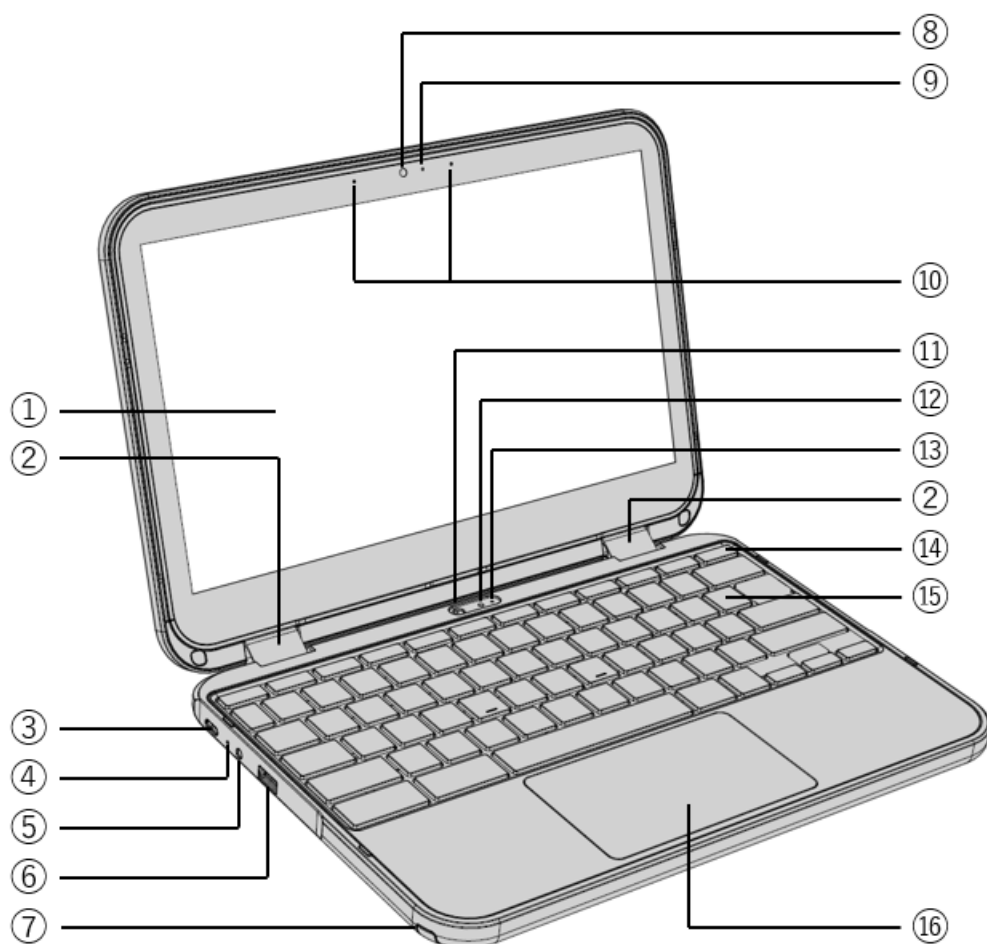
1 各部の名称 — 外観図 —






お願い 外観図について

- 本製品には磁石が内蔵されています。

参照 ▶ 「磁石の内蔵について（10ページ）」

1 前面図



- ① ディスプレイ（画面）
- ② ヒンジ
- ③  USB 3.2 (Gen1) Type-Cコネクタ（電源コネクタ）
USB3.2規格に対応しています。付属のACアダプターやPAACA048（オプション）で充電するときに使用します。（USB Power Delivery（充電機能）対応）
USB Type-C™接続の外部ディスプレイを接続することができます。
以降、本書では「USB Type-C™コネクタ」と呼びます。
- ④  DC IN／Battery LED
電源コードとACアダプターの接続の状態やバッテリーの充電状態を示します。
参照 「バッテリーの状態をDC IN／Battery LEDで確認する（18ページ）」
- ⑤  マイク入力／ヘッドホン出力端子
ヘッドホンやヘッドセットを接続します。
マイクはモノラル音声です。
- ⑥  USB3.2（Gen1）Type-Aコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.2（Gen1）規格に対応しています。
以降、本書では「USB Type-Aコネクタ」と呼びます。
- ⑦ ペンガレージ
付属の充電式USIアクティブ静電ペン2を収納できます。
また、付属の充電式USIアクティブ静電ペン2を充電するときに使用します。
参照 「充電式USIアクティブ静電ペン2を充電する（25ページ）」
- ⑧ Webカメラ（フロント）
写真や動画を撮影するためのものです。
- ⑨ Webカメラ（フロント）LED
Webカメラ（フロント）の使用時に点灯します。
- ⑩ 内蔵マイク
- ⑪ Webカメラ（リア）
- ⑫ Webカメラ（リア）LED
Webカメラ（リア）の使用時に点灯します。
- ⑬ 内蔵マイク
- ⑭  電源スイッチ、Power LED
電源がONのとき、Power LEDが点灯します。
- ⑮ キーボード
- ⑯ タッチパッド（クリックパッド）、左ボタン、右ボタン

お願い Webカメラについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「Webカメラについて（35ページ）」

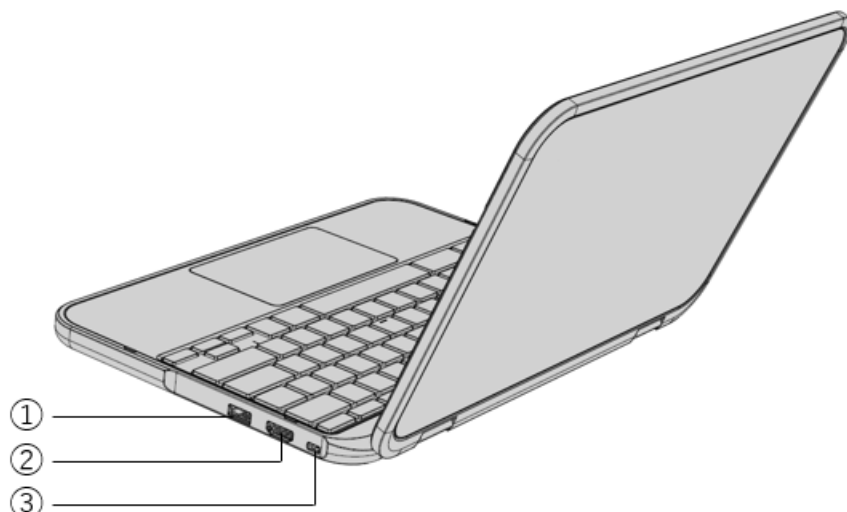
Power LED


電源の状態はPower LEDの点灯状態で確認できます。

	状態	本製品本体の状態
Power LED	白色の点灯	電源ON
	消灯	電源OFF、スリープ中


参照 DC IN／Battery LEDについて
「バッテリーの状態をDC IN／Battery LEDで確認する（18ページ）」

2 背面図



①  USB3.2 (Gen1) Type-Aコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.2 (Gen1) 規格に対応しています。
以降、本書では「USB Type-Aコネクタ」と呼びます。

② **HDMI** HDMI®出力端子
HDMI®ケーブルを接続して、HDMI®入
対応機器（テレビ、外部ディスプレイな
ど）にパソコンの映像を表示します。

③  セキュリティロック・スロット*1
盗難を抑止するためのセキュリティケー
ブルを接続できます。
セキュリティケーブルは、本製品に対応
しているものをご利用ください。
詳しくは、販売店などに確認してくださ
い。

*1 セキュリティロック・スロットのサイズは約3mm×7mmです。

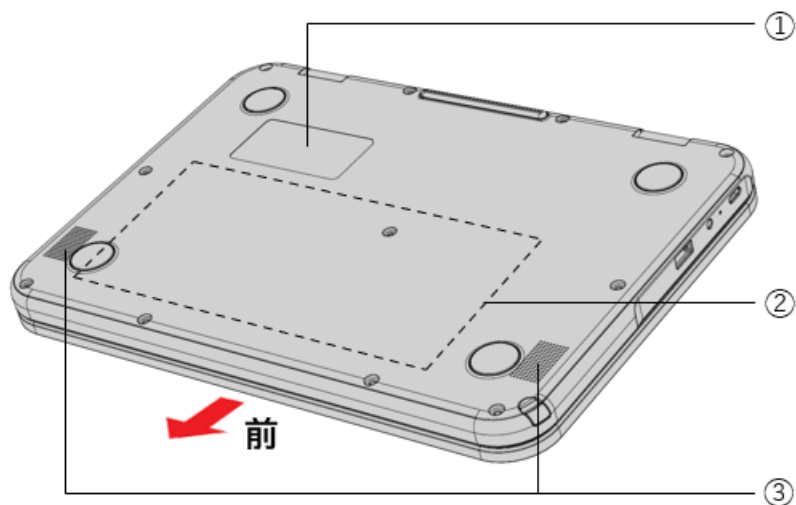
⚠ 注 意

- ロック部分が大きなセキュリティケーブルは使用しない
セキュリティロック・スロットにロック部分が大きなセキュリティケーブルを使用すると、本製品が浮き上がり、指をはさんでけがをするおそれがあります。
また、本製品が破損するおそれがあります。

Memo

- 本製品のメモリについて
- メモリの交換・増設はできません。

3 裏面図



① 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

② バッテリーパック

本製品に内蔵されています。

③ スピーカー

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 お問い合わせ先「サービス＆サポートのご案内（42ページ）」

4 磁石の内蔵について

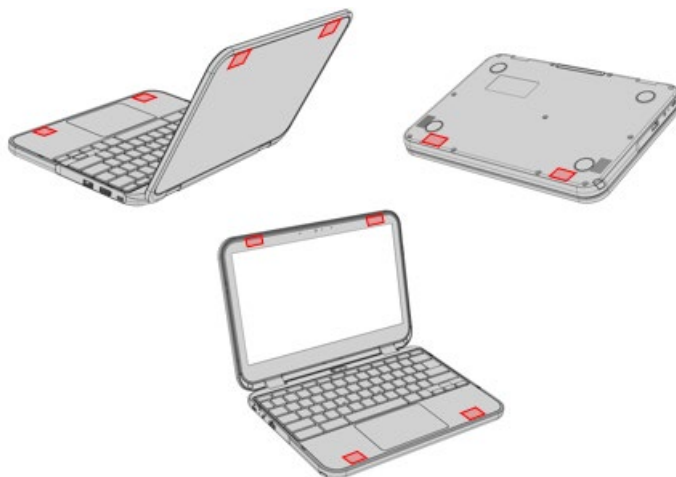
次の図の枠で囲った部分には、磁石が内蔵されています。
ディスプレイを閉じた状態、裏返した状態でも磁気の影響があります。

⚠ 警 告

- 植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、本製品の磁石を近づけない
磁気により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

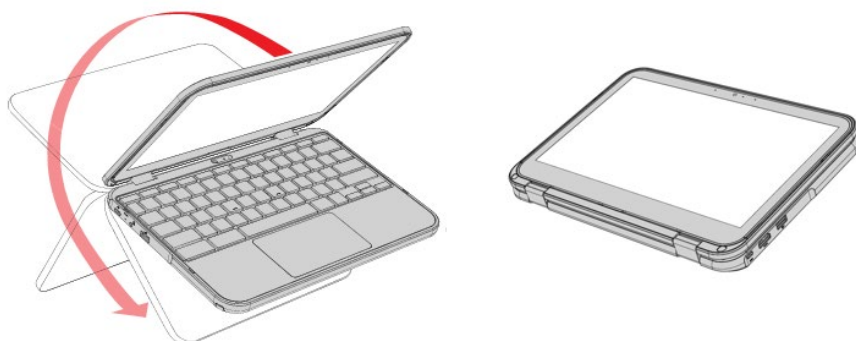
お願い 磁石について

- 磁気カードなどを利用した記憶媒体のデータを壊す可能性がありますので、本製品の磁石に近づけないようにしてください。



2 本製品のスタイルについて

本製品は、下の図のようにディスプレイの角度を最大約360°回転させたり、形状(スタイル)を変更することができます。






1 スタイルの種類

本製品で利用できるスタイルには、次の種類があります。

各スタイルに適した使いかたを確認してください。

*イラストはイメージです。

スタイル	形状	使用例
①ノートPC		● 文章の作成など、キーボード入力が必要とする作業に適しています。
②フラット		● 卓上などに置いて少人数で画面を見ながらキーボードを操作するのに適しています。
③タブレット		● Webブラウジングなど、頻繁に画面のタッチ操作を行う場合に適しています。

本書では、スタイルの区別なく説明する場合、本製品のことを「パソコン」と呼んでいます。

2 スタイルを変更する

各スタイルに変更する手順について説明します。

スタイルを変更する前に、あらかじめ次の内容を確認してください。

⚠ 注 意

- **パソコンの表面や底面に長時間触れない**

機器の表面や底面は熱くなります。

低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。

<ノートPCスタイル>

- **パソコン本体を持って振らない**

ディスプレイが手前に閉じて、指をはさんでけがをするおそれがあります。

<フラットスタイル>

- **フラットスタイルのままで持ち運ばない**

フラットスタイルで持ち運ぶと、ヒンジ部が破損するおそれがあります。

<タブレットスタイル>

- **本製品を持って振り回さない**

ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

ほかの人にぶついたりして、けがをさせるおそれがあります。

- **タブレットスタイルのままで持ち運ばない**

タブレットスタイルで持ち運ぶと、液晶ディスプレイやキーボードに負担がかかり、破損したり故障したりするおそれがあります。

1 各スタイルでの使用にあたってのお願い

- USBコネクタに接続するとパソコン本体が浮き上がるような分厚いUSB対応機器の場合は注意して使用してください。パソコン本体のUSBコネクタに力が加わり破損するおそれがあります。
- ディスプレイはゆっくり閉じてください。強く閉じると、ディスプレイの画面に傷がついたり、液晶ディスプレイが故障するおそれがあります。

■ ノートPCスタイル

- ディスプレイは、本体が安定して使用できる角度に調節して使用してください。

■ フラットスタイル

- フラットスタイルで使用するときは常に平らで安定した硬いものの上に置いてください。

■ タブレットスタイル

- タブレットスタイルでは、キーボードとタッチパッドを使用できません。
- Webカメラ（リア）はタブレットスタイルで使用してください。

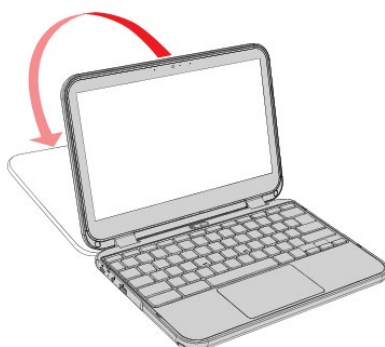
2 スタイルの変更手順

あらかじめ次の操作を行っておいてください。

- 必要なデータを保存する
電源を入れたままでスタイルの変更を行うことができますが、タッチ操作やキーボード操作などによる誤操作を防ぐため、必要なデータは保存しておいてください。
- パソコンから電源コードとACアダプター、周辺機器、ケーブル類を取りはずす

ここでは、ノートPC →フラットの順番で説明します。

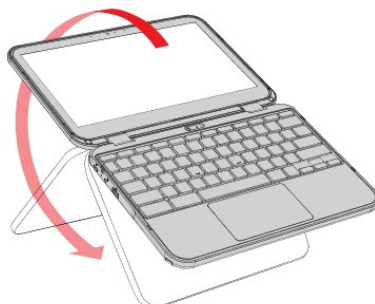
■ノートPC



ノートPCスタイルから、ディスプレイを矢印の方向にゆっくりと倒して水平にすると、フラットスタイルになります。



■フラット



フラットスタイルから、ディスプレイの裏面がキーボード裏面と向き合うまで、矢印の方向へゆっくりと倒すとタブレットスタイルになります。

⚠注意

- ディスプレイを倒すときに、ディスプレイ裏面とキーボード裏面の間に指を入れない

けがをするおそれがあります。

- ディスプレイを倒すときに、ディスプレイ裏面とキーボード裏面の間にものを入れない

破損したり故障したりするおそれがあります。



(イラストはイメージです)



■タブレット



⚠ 注 意

- タブレットスタイルからディスプレイを閉じる場合など、ディスプレイを180° 以上開いた状態からディスプレイを閉じるときに、ヒンジの横のすきまに指を入れない

けがをするおそれがあります。



(イラストはイメージです)

3 リカバリメディアを作る

本製品の調子が悪くなりOSが起動しなくなった場合、本製品を初期状態に戻すために、リカバリメディアが必要となります。

リカバリメディアは、あらかじめ、お客様ご自身で作成していただく必要があります。

- Memo**
- リカバリメディアは、本製品以外のパソコンでも作ることができます。本製品にトラブルが生じている場合などは、本製品以外のパソコンでリカバリメディアを作ってください。

準備するもの

次のメディアを用意してください。

- USBフラッシュメモリ（8GB以上、中のデータが消去されてもかまわないもの）

リカバリメディアを作成すると、メディア上のデータはすべて削除されます。記録メディアは、何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

リカバリメディアの作成

- お願い**
- リカバリメディアを作成するときは、ほかのアプリをすべて終了させてから行ってください。また、電源コードとACアダプターを使用して本製品を電源コンセントに接続した状態で作成してください。本製品の省電力機能が働かないようにしてください。
 - 作成中は電源OFF／スリープ／再起動を実行しないでください。

リカバリメディアの作成方法については、Chromebookヘルプをご参照ください。

参照▶「Chromebookヘルプを参照する（26ページ）」

- Memo**
- 作成したリカバリメディアは、リカバリメディアであることが判るように目印をつけて保管してください。

2章 取り扱いについて

この章では、本製品の各部の取り扱いについて説明しています。

1 バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。

本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用するお客様で自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。寿命などで交換する場合はお問い合わせください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 お問い合わせ先「サービス＆サポートのご案内（42ページ）」

お願い バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「バッテリーの使用／充電について（33ページ）」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

バッテリーの充電量は、ステータスエリアをクリックして表示される画面の下側に表示されます。

1 バッテリーの状態をDC IN／Battery LEDで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN／Battery LEDが点灯します。

DC IN／Battery LEDは次の状態を示しています。












	状態	本製品の状態
DC IN／Battery LED	白色の点灯	充電完了
	白色の点滅	充電を停止中 バッテリーが高温となり、充電を停止している状態です。 点滅が続く場合、故障の可能性があります。dynabook GIGA スクール 修理受付窓口に連絡してください。
	オレンジ色の点灯	充電中
	オレンジ色の点滅	電源コードとACアダプターを接続していない バッテリーの残量が少なくなっています。電源コードとACアダプターを接続して、バッテリーを充電してください。
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない

参照 お問い合わせ先「サービス＆サポートのご案内（42ページ）」

2 キーボードについて

本製品のキーボードには、いくつかの特殊キーがあります。

特殊キー

	前のページに移動します。
	現在のページを、最新の情報に更新します。
	全画面表示します。もう一度押すと、元のウィンドウサイズに戻ります。
	起動しているアプリケーションの画面を、一覧表示します。
	スクリーンショットを撮影します。
	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
	液晶ディスプレイの輝度が上がります。
	ミュートに（消音に）します。
	音量が下がります。
	音量が上がります。
	画面をロックします。

3 画面にタッチして操作する

本製品の画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

■ タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。

アイコンの選択、ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。



「クリック」と同じ操作になります。

■ ロングタッチ（長押し）

アイコンなどの上に指を数秒置いたままにします。

触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。



■ ドラッグ

アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所まですべらせます。



■ピンチアウト／ピンチイン

画面に指を2本置き、指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）することで、画像などの表示サイズを変更できます。



■フリック（スワイプ）／スライド

画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（フリック）、なぞったり（スライド）します。

画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。



お願い タッチ操作について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「ディスプレイの取り扱いについて（35ページ）」

Memo ● アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

4 Webカメラを使う

Webカメラを使って写真撮影やビデオ撮影を行えます。
用途に応じて、Webカメラ（フロント）とWebカメラ（リア）を切り替えて使用してください。

お願い Webカメラについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「Webカメラについて（35ページ）」

1. 画面左下の「ランチャー」をクリックし、「カメラ」をクリックする
カメラアプリが起動します。

- Memo** ● カメラアプリ内の  をクリックすると、Webカメラ（フロント）／Webカメラ（リア）が交互に切り替わります。

5 無線通信機能を設定する

無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth®機能）を設定します。

⚠ 警告

- **植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）を装着しているかたは、植込み型医療機器の装着部位から15cm以上離す**
電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- **電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る**
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 各無線通信機能をOFFにする方法は、次項の「無線通信機能をON／OFFする」を参照してください。
 - ・ スリープでは、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

1 無線通信機能をON／OFFする

無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth®機能）をON／OFFする方法については、Chromebookヘルプをご参照ください。

参照 無線通信機能をON／OFFする方法「Chromebookヘルプを参照する（26ページ）」

2 無線通信機能を設定する

無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth®機能）を設定する方法については、Chromebookヘルプをご参照ください。

参照 「Chromebookヘルプを参照する（26ページ）」

お願い ● 無線LANネットワークに接続する場合は、あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「無線LANについて（36ページ）」、
「無線LANやインターネットの使用に関するお願い（40ページ）」

お願い ● Bluetooth®対応機器と本製品を接続する場合は、あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「Bluetooth®について（36ページ）」

6 充電式USIアクティブ静電ペン2を使う

充電式USIアクティブ静電ペン2を使用して、本製品の画面上でメニューの選択やデータの入力などの操作を行うことができます。

ペン先を画面に近づけると、操作できます。



⚠注意

- ぬれた手で、充電式USIアクティブ静電ペン2に触れない
故障、腐食の原因となります。
- 充電式USIアクティブ静電ペン2で画面を強くたたいたりしない
画面を傷つけたり、故障の原因となります。

お願い 充電式USIアクティブ静電ペン2について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

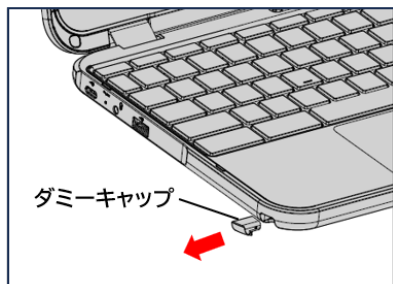
参照▶ 「充電式USIアクティブ静電ペン2について（38ページ）」

1 充電式USIアクティブ静電ペン2を充電する

充電式USIアクティブ静電ペン2を使用するには、あらかじめ充電する必要があります。

1. 本製品の電源を入れる

2. ペンガレージから、ダミーキャップを取り出す

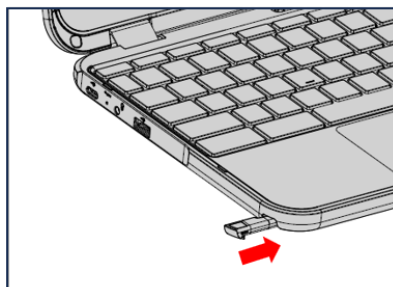


3. ペンガレージに充電式USIアクティブ静電ペン2を差し込む

ペンの向きを確認して、ペン先から挿し込んでください。

充電が開始されます。

参照 充電時間について「充電式USIアクティブ静電ペン2の仕様（51ページ）」



お願い ● 本製品を持ち運ぶときは、ペンガレージに、充電式USIアクティブ静電ペン2またはダミーキャップを取り付けてください。ペンガレージ内にほこりなどが入ると、充電式USIアクティブ静電ペン2を充電できなくなるおそれがあります。

Memo ● 充電量が減少すると、充電式USIアクティブ静電ペン2の反応が悪くなる場合があります。その場合は、再度充電してください。

3章 困ったときは

この章では、Chromebookの使いかたの参照先を紹介し、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

また、本製品の動作がおかしくなったときに行うリカバリについても説明しています。

1 Chromebookヘルプを参照する

Chromebookの使いかたや操作、設定方法についてはChromebookヘルプをご参照ください。
また、キーワードを入力してご確認くださいこともできます。

Chromebookヘルプ

<https://support.google.com/chromebook/>



2 Q&A集

1 電源

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう
電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるまで待ってください。


A 本製品からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

① 電源コードとACアダプターを取りはずす

本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。

② そのままの状態、しばらく放置する

③ 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

④  キーを押しながら電源スイッチを押す

以上の手順でも解決できない場合は、お問い合わせ先に連絡してください。


Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

Q しばらく操作しないと、電源が切れる

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、キーボード、タッチパネルなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

 キーを押すか、タッチパッド、タッチパネルなどを操作すると表示が復帰します。

2 システム／ストレージ

Q 本製品が応答しなくなった

- A** OS起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動したり、完全に終了できない場合は、電源スイッチを8秒以上押してOSを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープは無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

- A** システムが処理中の可能性があります。

画面に輪(○)が回って表示されている場合は、システムの処理中を意味します。システムの処理が終わるまで待つてから操作してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

- A** アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがOSの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

- A** 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がOSの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

3 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

- A** タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。

タッチパネルに触れないで、しばらく待つてからお使いください。

4 その他

Q 本製品を初期状態に戻せなくなったときは

- A** システムを復元するためのデータが破損、または誤って消去されている可能性があります。
お問い合わせ先に相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「サービス&サポートのご案内（42ページ）」

Q 本製品の近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

- A** 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対する本製品の方向を変える
- 本製品をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- 受信機に屋外アンテナを使う

Q 本製品を捨てたい、人に譲りたい

- A** ストレージの内容をすべて消去してください。

本製品に保存されているデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。

そのようなことができないように、本製品を廃棄する場合は、ストレージの内容をすべて消去してください。

なお、ストレージに保存されているデータやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

参照▶ ストレージの内容の消去方法「初期状態にリセットする方法（31ページ）」

- A** 本製品の廃棄時に、お客様ご自身でバッテリーパックの取りはずしは行わないでください。
本製品といっしょに廃棄してください。

参照▶ 本製品の廃棄について「サービス&サポートのご案内（42ページ）」

3 本製品をリセットする／初期状態に戻す（リカバリ）

本製品をリセット／初期状態に戻す（リカバリ）と、購入後にインストールしたアプリケーションや現在の設定などは削除されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに、本製品をリセット／初期状態に戻してください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- お問い合わせ先に連絡して相談した結果、「リカバリが必要」と診断された

この操作を始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

1 リカバリ方法について

リカバリ方法には、次の種類があります。

- ① 初期状態にリセットする方法
- ② リカバリメディアを使用して復元する方法

①を実施し、それでもトラブルが解消しない場合は、②を実施してください。

お願い リカバリを行うときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください


- プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。
- リカバリが完了するまでは、プリンターなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- リカバリの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- リカバリ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。しばらく入力装置（タッチパッド、キーボード、タッチパネルなど）を操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、 キーを押すか、タッチパッドなどをさわってください。

キーやタッチパッドなどでは復帰しない場合は、電源スイッチを押してください。

2 初期状態にリセットする方法

本製品をリセットすると、本製品に保存されているすべてのユーザーデータが削除されます。

- お願い** ● リセットをする前に、あらかじめ重要なデータはGoogleドライブまたは外部ストレージデバイスにバックアップを取っておいてください。

参照▶ 初期状態にリセットする方法「Chromebookヘルプを参照する（26ページ）」

- Memo** ● リカバリ完了後、必要に応じて、周辺機器の接続や各種設定をやり直してください。

3 リカバリメディアを使用して復元する方法

本製品をリセットしてもトラブルが解消しない場合は、OSを削除して再インストールする復元を行ってください。

- お願い** ● あらかじめ、リカバリメディアを作成しておきます。

参照▶ リカバリメディアの作成にあたって「リカバリメディアを作る（16ページ）」

参照▶ リカバリメディアを使用した復元方法「Chromebookヘルプを参照する（26ページ）」

- Memo** ● リカバリ完了後、必要に応じて、周辺機器の接続や各種設定をやり直してください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願い、お問い合わせ先、技術基準適合などについて記載しています。

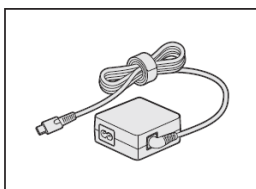
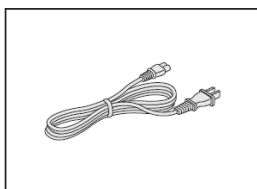
1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 本製品を使うにあたって

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、下の図のように正しくケーブルを束ねてください。



⚠ 警 告

- 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグを差したままにすると、機器の経年劣化を早めたり、ほこりや絶縁破壊などが原因で火災・やけど・感電のおそれがあります。

⚠ 注 意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

2 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーが高温の状態が続くと、バッテリーの劣化を防止するため、バッテリーの充電量を自動で減らす場合があります。温度が下がると再度充電を行います。
- バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

【参考資料】

一般社団法人 電子情報技術産業協会の「ノートパソコンやタブレットのバッテリーに関する基礎知識」について

https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/news/210730.html

3 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。
- タッチパッドの上に、ものを置いた状態で使用しないでください。

結露について

- 結露(空気中の水分が水滴になる現象)しないよう急激な温度変化を与えないでください。寒いところから暖かいところに本製品を移動したときなどは、本製品の表面や内部に結露が発生しやすくなります。結露が発生したまま本製品を使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

4 | 電源を切る／スリープについて

電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- ストレージやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

スリープを実行する前に

- スリープを実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スリープを実行するときは、記録メディアやUSB接続型の外付けハードディスクドライブなどとのデータの読み出し、保存（書き込み）が完全に終了していることを確認してください。
データのアクセス途中でスリープを実行すると、データの読み出し、保存が正しく行われません。

電源を切るときは

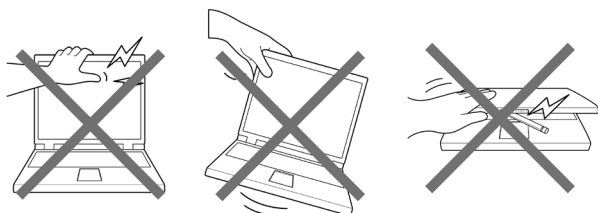
- 本製品に接続している機器（周辺機器）の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃で本製品が故障する場合があります。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

5 ディスプレイについて

ディスプレイの取り扱いについて

ディスプレイの破損や故障を防ぐために、次のことを守ってください。

- タッチパネル搭載モデルの場合、次のことを守ってください。
 - 画面を強く押さないでください。
 - 画面は指または付属のペンで操作してください。
 - 先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。
 - 画面に保護フィルムを貼らないでください。タッチ操作が正しく行われないおそれがあります。
- 画面上に物を置かないでください。
- ディスプレイ部分をつかんで持ち上げないでください。
- キーボード上にペンなど、ものをはさんだ状態でディスプレイを閉じないでください。
- ディスプレイを開閉する際は片手でパームレストを押さえゆっくり開閉してください（無理な力を加えないでください）。
- 画面の周りのフレーム部分に保護フィルムやフィルターを貼らないでください。ディスプレイを閉じたときに、破損するおそれがあります。
- パソコンを持ち運ぶ際に、そのままカバンに入れると、ディスプレイとキーボード面の間に、何かが挟み込まれた状態になり、故障の原因となる可能性がありますので、インナーケースなどを利用することをおすすめします。



6 Webカメラについて

Webカメラを使用するにあたって

- Webカメラに保護シートが貼ってある場合には、Webカメラを使用する前に、必ず保護シートをはがしてください。
- Webカメラを太陽に直接向けないでください。
- Webカメラのレンズ部分に触れたり、強く押したりしないでください。画質が低下する原因となります。
レンズ部分が汚れた場合は、クリーナークロスなどの柔らかい布でふいてください。

7 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線通信の範囲を最大限有効にするために、次のことを守ってください。
 - ・ 無線LANアクセスポイントと本製品の間を、金属板などで遮へいしないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲に、本や厚い紙の束などの障害物を置かないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲を、金属製のケースで覆わないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲に、ラベルを貼り付けしないでください。
 - ・ 無線LANで通信中は、無線通信アンテナ部分に極力触れないでください。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、無線LANの設定にて使用する無線周波数帯を変更してください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。

参照▶「無線LAN／Bluetooth®について（45ページ）」

8 Bluetooth®について

- 本製品は、すべてのBluetooth®対応機器との接続動作を保証するものではありません。

Bluetooth®の対応プロファイル

- Bluetooth®の対応プロファイルは次のとおりです。
A2DP、AVRCP、HFP、HSP、HID、HOGP、DID、DIS、GAVDP、MPS、RFCOMM
- * プロファイル適合デバイスすべての接続を保証するものではありません。

9 周辺機器について

本製品への機器の取り付け／取りはずしについて

- 本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なる場合があります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルの規格や、コネクタ／端子の形状などのことです。購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。
- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。各節を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサクションに対応していない機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサクションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。

- 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
- 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
- 本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
- 本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

ヘッドセットやヘッドホンの操作にあたって

- すべてのヘッドセットやヘッドホンに対応するものではありません。
- 次のような場合にはヘッドセットやヘッドホンを装着しないでください。雑音が発生する場合があります。
 - 本製品の電源を入れる／切るとき
 - ヘッドセットやヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

USB対応機器の操作にあたって

- 本製品に、電源供給が必要なUSB対応機器を接続する場合は、USB対応機器の電源を入れてから本製品に接続してください。
- USB対応機器を使用するには、システム（OS）が対応しており、機器用ドライバーがインストールされている必要があります。
- すべてのUSB対応機器の動作を保証するものではありません。
- USB対応機器を接続したままスリープにすると、復帰後USB対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB 対応機器を接続し直すか、本製品を再起動してください。

■取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、USB対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- USBフラッシュメモリやUSB接続のハードディスクドライブなど、記憶装置のUSB対応機器を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ずシステム上で使用停止の手順を行ってください。

10 ストレージについて

操作にあたって

- ストレージにアクセス中は、電源を切ったり、本製品を動かしたりしないでください。ストレージが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- 記憶内容の変化／消失など、ストレージ、USBフラッシュメモリなどに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ストレージの空き容量が少なくなると、アプリケーションが起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。その場合は、不要なアプリケーションやデータを削除するなどして、ストレージの空き容量を増やしてください。

11 充電式USIアクティブ静電ペン2について

ペンの操作にあたって

- 指紋などで画面が汚れていると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。
このような場合は、クリーナークロスなどの柔らかい布で画面をふいてご使用ください。
画面をふくときには、強い力を加えないでください。
- 画面に保護フィルムを貼ると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。

取り扱いについて

- ペンは、ペンの用途以外で使用しないでください。
- 誤った使いかたをすると画面に傷がつくおそれがありますので、次のことを守ってください。
 - ・ 付属のペン以外（特に先端の鋭いもの）で画面を押さない
 - ・ つめや、指輪などの金属が画面に触れないようにする
 - ・ 画面をむやみに強く押さない
- ペン先をディスプレイ上に強く押しつける、たたきつけるような使いかたをしないでください。また、ペンを使用する前に芯が短くなっていないかをご確認ください。
- 湿度変化の激しい場所や直射日光の当たる車の中での使用、保管はお避けください。
- ペンは精密部品によって構成されています。強い衝撃が加わると誤動作したり特性劣化につながりますので、落下などしないように取り扱いにご注意ください。
- 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- ペン先に必要以上の荷重を加えると寿命が短くなったり特性劣化につながりますので、無理な力を加えないでください。
- ペン内部に水が入ったり、結露させると、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 調整がずれたり、寿命が縮まる可能性がありますのでペンを分解しないでください。
- 化粧品や薬品がペンに付くと、外観や品質の劣化につながりますのでご注意ください。お手入れの際はアルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性の液体は避け、乾いた布を使用してください。
- 曲がったり変形した芯を使いますとペンが誤動作することがありますので、芯に無理な力を加えたり曲げたりしないでください。
- 芯などの小さな部品が、幼児などの口に入らないようにご注意ください。
- 不特定多数のユーザーが使用するなど、上記内容を管理できないような環境で使用されて品質問題が発生した場合は、当社としては責任を負いかねます。
- ペンは消耗品です。本体を破損した場合、駆動時間が短くなった場合は、ペンを再度ご購入ください。詳しくは、担当営業にお問い合わせください。

芯の交換について

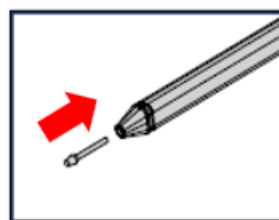
- ペンの芯先端部の丸みがなくなってきたら、芯を抜いて交換してください。
芯がすり減って短くなり過ぎると、引き抜くのが難しくなります。
芯が短くなり過ぎないうちに交換してください。

① 芯の先を指でつまむ

② 矢印の方向に、芯をまっすぐ引き抜く



③ 替え芯を、丸くなっている方がペン先から外に出るような向きで、ペンにまっすぐ挿入する



- ペンやペンの芯は消耗品です。
ペンを破損した場合や芯を使い切った場合は、充電式USIアクティブ静電ペン2を再度ご購入ください。詳しくは、担当営業にお問い合わせください。

2 無線LANやインターネットの使用に関するお願い

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して本製品と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

セキュリティ機能

セキュリティ機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。不正アクセスを防ぐために、暗号化機能（WPA3™、WPA2™）を設定されることを強くおすすめします。また、お使いの無線LANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。

青少年がおられる家庭の皆様へ～重要なお知らせとお願い

インターネットの発展によって、世界中の人と容易に電子メールをやりとりしたり、国や企業が公開しているインターネット上のサイトを閲覧したりすることで、必要なときに必要とする情報を瞬時に検索することが可能です。しかしながら、インターネットには、違法情報や有害情報のほか不確かな情報が氾濫しているという負の側面があります。特に青少年にとって、下記のようなインターネット上のサイトは、情報入手の容易さや情報に遭遇する機会の増大などによって、青少年の健全な成長を阻害し、犯罪やモラルに反した人権侵害などの社会問題の発生を助長していると考えられています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト
- 不必要に個人情報を書き込ませるサイト
- オンライン詐欺サイト
- 自殺や家出に誘うような情報を載せたサイト
- ネットいじめのサイト

上記のサイトが青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信者の側で閲覧の制御を行う技術的手段で、100%万全ではありませんが、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。特に青少年がおられるご家庭では、本製品にフィルタリング機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をご検討されることをおすすめします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、それぞれ、機能、利用条件が異なっています。ソフトウェア提供会社あるいは、お客様が契約されているインターネット事業者に、事前にご確認されることをおすすめします。

【参考資料】

- 一般社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料
「パソコンサポートとつきあう方法」
https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/usage/support.html









2 サービス&サポートのご案内

「dynabook GIGA スクール 修理受付窓口」

https://dynabook.com/assistpc/gigaschool/giga_syuuri.htm

* 2025年11月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート対応は、お問い合わせの内容や手段によって、窓口が分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段	
	電話	Web
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい		
故障かどうか調べたい		
インターネット、またはメールで修理の申し込みをしたい*1		
インターネットで修理状況を確認したい*1		
本製品の中からデータを救い出してほしい*2		
バッテリーパックの交換を依頼したい*2		
保証期間を延長したい		
使用済み製品の回収・リサイクルのご相談		
不要になった本製品を廃棄したい（企業）		

* 1 事前にご登録が必要となります。詳しくは、dynabook GIGAスクール修理受付窓口にお問い合わせください。

* 2 詳しくは、dynabook GIGAスクール修理受付窓口にお問い合わせください。

■各問い合わせ先について *電話番号のお間違いにご注意ください。



Chromebookヘルプ



<https://support.google.com/chromebook/>

Chromebookの使いかたや操作、設定方法についてはChromebookヘルプをご参照ください。また、キーワードを入力してご確認いただくこともできます。



dynabook GIGA スクール 修理受付窓口

https://dynabook.com/assistpc/gigaschool/giga_syuuri.htm

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

- お電話からのお申込み

0120-86-9192（フリーダイヤル）

- メールからのお申込み

「ピックアップ依頼シート」をご記入の上、下記のメールアドレスへお送りください。

メールアドレス：DBI-GIGA-FRONT@group.dynabook.com

- Webからのお申込み

「修理サービス申込みフォーム」からお申込みください。

* 事前に利用者登録が必要です。利用者登録については、「お電話からのお申込み」のフリーダイヤルにお問い合わせください。

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休業日を除く）



保守パックサービス（安心で心強いサービス）

https://dynabook.com/assistpc/enchob2b/index_j.htm

法人向けモデルのメーカー保証を延長するサービスです。

お問い合わせは、ご購入のご販売店様、営業担当または、下記の修理・サポートダイヤルまでお願いします。

0120-335-660（フリーダイヤル）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休業日を除く）



PCリサイクルのご相談（企業）

一般社団法人パソコン3R推進協会の「事業系PC業界回収スキーム」で実施しております。詳しくは、以下のURLからご確認ください。

「パソコンのリサイクル・買取り（法人向け）」

https://dynabook.com/assistpc/purchase/index_j.htm

* 廃棄の際には必要に応じて情報のバックアップを行い、初期状態にリセットしてください。

参照 「初期状態にリセットする方法（31ページ）」

* 本製品の廃棄時に、お客様ご自身でバッテリーパックの取りはずしはしないでください。
本製品といっしょに廃棄をお願いします。



3 技術基準適合について

瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

参照 「Q 本製品の近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい (29ページ) 」

4 無線LAN／Bluetooth®について

1 無線LANの規格

無線LAN（無線LANモジュール）には通信の通信速度や使用している周波数帯によって、複数の規格が存在します。

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n、IEEE802.11ac、IEEE802.11axのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANが搭載されています。

本書では、搭載された無線LANの種類によって説明が異なる項目があります。

■無線LANの仕様

無線周波数帯	IEEE802.11a IEEE802.11n IEEE802.11ac IEEE802.11ax	5GHz（5150-5350MHz、および 5470-5725MHz）
	IEEE802.11b IEEE802.11g IEEE802.11n IEEE802.11ax	2.4GHz（2412-2484MHz）
変調方式	IEEE802.11a IEEE802.11g IEEE802.11n IEEE802.11ac IEEE802.11ax	直交周波数分割多重方式 （OFDM方式）
	IEEE802.11b	直接拡散方式（DSSS方式）

無線LANアクセスポイントや無線機器と通信を行うには、どちらも同じ規格に準拠している必要があります。

2 無線LANのサポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャンネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります。

5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャンネルをサポートしています。

IEEE802.11b/g/n/ax			
IEEE802.11a/n/ac/ax			
✓52	W52	W53	W56

■ 無線IEEE802.11チャンネルセット

- 5GHz帯：5150-5350MHzおよび、5470-5725MHz
(IEEE802.11a、IEEE802.11n、IEEE802.11ac、IEEE802.11axの場合)

	チャンネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャンネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャンネルに自動的に設定されます。

Memo

- W52、W53は電波法令により屋外で使用することはできません。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch36, Ch40, Ch44, Ch48, Ch52, Ch56, Ch60, Ch64, Ch100, Ch104, Ch108, Ch112, Ch116, Ch120, Ch124, Ch128, Ch132, Ch136, Ch140で使用できます。

- 2.4GHz帯：2412-2484MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11n、IEEE802.11axの場合）

チャンネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457
11	2462
12	2467
13	2472
14	2484

Memo ● インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch14で使用できます。

3 Bluetooth®の仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth® Specification Ver.5.0／5.1／5.2準拠
	無線周波数帯	2.4GHz（2402～2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式 GFSK

4 使用上のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2400MHz～2483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局および移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2427MHz～2470.75MHzと重複しています。

この周波数では電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- ③ その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先へご相談ください。

5 無線特性

無線LANおよびBluetooth®の無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHzおよび2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

Memo

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

6 機器認証について

本製品は、電波法および電気通信事業法の認証を受けた無線設備である場合と、認証を受けた無線設備を搭載している場合があります。

いずれの場合も本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の行為は電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

- 無線設備として認証を受けている場合 ： 本製品を分解・改造して使用すること
- 認証を受けた無線設備を搭載している場合：
組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用すること
（本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しているため）

認証番号などに関する情報は、当社ホームページ「dynabook.com」をご覧ください。

無線製品の相互運用性

■ 無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs (Revision a/b/g/n/ac/ax)

■ Bluetooth®

本製品に搭載されているBluetooth®は、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するBluetooth® ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth® Special Interest Group策定のBluetooth® Specification Ver.5.0/5.1/5.2
- Bluetooth® Special Interest Groupの定義するBluetooth® ワイヤレステクノロジーのLogo認証

Memo

- 本製品はすべてのBluetooth® ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) Bluetooth® Version1.0B仕様のBluetooth® ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
- (2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
- (3) Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、無線LANの設定にて使用する無線周波数帯を変更してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetooth®は、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetooth®の動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと考えております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetooth®の使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetooth®を用いた装置を使用する場合
 - ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合
- 個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

8 使用できる国／地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国／地域の無線規格を取得している必要があります。

無線規格を取得していない国／地域では、パソコン本体の無線通信機能をOFFにしてください。

参照 「無線通信機能をON/OFFする（23ページ）」

5 充電式USIアクティブ静電ペン2の仕様

製品名	充電式USIアクティブ静電ペン2
充電時間 ^{*1}	約15秒以上充電してお使いください。 充電式USIアクティブ静電ペン2が動作しなくなった場合や、 長時間使用しなかった場合は、再度、充電して使用してください。

*1 出荷時の状態です。充電式USIアクティブ静電ペン2の駆動時間は、使用により少しずつ劣化していきます。また、高温状態での使用では通常より早く劣化します。